

編集後記

(60巻 第9号 2014年9月)

いよいよ我が国の医療費が40兆円に達する勢いだ。20年前に吉田名誉編集委員長が「日本の医療費が約20兆円を超える」と危機感をもって語られていたことを覚えている。医療費はこの20年で倍増したことになる。

前立腺癌治療では手術ロボットが導入され、今年からは高価な新規治療剤が3剤も保険適用となる。以前は早今は、ロボット手術(高度放射線治療), LH-RH 製剤, 抗アンドロゲン剤, 骨関連事象の治療薬, 抗がん剤など, 複数の高額な治療を保険診療として受けることが出来る。生命予後や QOL は確かに改善されたが, 感覚からいうと2倍どころか10倍くらいの医療費を使っているように感じる。

今後も新しい高額な治療が次々と登場してくるだろう。もはや後発品の普及率を引き上げるなどという姑息的な対応ではどうしようもない。そろそろ「命とお金」という誰もが避けたい問いに答えを出す時期だろう。

(小川 修)